

令和8年度収入・支出予算が、令和8年2月12日に開催された第134回組合会において承認されましたのでここに公告いたします。

《公告第632号》 令和8年度予算のお知らせ

介護保険

収入		
科目	予算額(千円)	第2号たる被保険者一人当たり額(円)
介護保険料収入	365,108	115,834
繰入金	10,000	3,173
雑収入	376	119
収入合計	375,484	119,126

介護勘定の基礎数値

被保険者数	3,152人
標準報酬月額	401,108円
総標準賞与額	4,913,440千円
保険料率	18.20 / 1,000

支出		
科目	予算額(千円)	第2号たる被保険者一人当たり額(円)
介護納付金	342,018	108,508
介護保険料還付金	0	0
予備費等	33,466	10,617
支出合計	375,484	119,126

令和8年度介護保険料率は、1.82%です。
前年と同率で運営いたします。



《公告第633号》 令和8年度任意継続被保険者の保険料率のお知らせ

任意継続被保険者の方の保険料は右記の通りです。
保険料計算の基礎となる任意継続被保険者の標準報酬月額は、退職時の標準報酬月額か、前年度の9月30日現在の当組合全被保険者の標準報酬月額の平均額（令和7年度に適用される標準報酬月額は38万円）のいずれか低い額となります。

保険料率

◆一般保険料率	9.87 %
◆調整保険料率	0.13 %
◆介護保険料率(40歳以上65歳未満対象)	1.82 %
◆子ども・子育て支援金率	0.23 %

保健事業

《注力保健事業》

① 保健事業ラボ実施

健診結果データから肥満症・腎機能リスク保有者へ個別勧奨通知物送付により行動変容を促し、生活習慣病リスク低減に向けて受診勧奨を強化いたします。その後レポートデータ発生状況を確認し検証します。

② セルフメディケーション推進

加入者の皆さまの「セルフメディケーション」をサポートするため、適正服薬に関連した情報（セルフケアや市販薬の活用方法・選び方等）を発信いたします。病院でもらえるお薬と同じ有効成分のお薬（スイッチOTC医薬品）も取り扱っています。皆さまの医療費負担の軽減と健保財政の健全化にもつながります。

③ LINEを活用した健保の広報機能強化サービス

現在保健事業の周知は社内イントラやHP、または健保だよりでご案内していますが、普及率の高いLINEを活用し、

健診予約のご案内通知や、マイナ保険証の登録案内等DXを有効活用し、被保険者だけではなく被扶養者への情報発信も強化していきます。まずは加入者全員へお友だち追加登録をさせていただきますようお願いいたします。



《継続保健事業》

- ① 歯科検診
- ② 特定健診・特定保健指導
- ③ 主婦健診
- ④ 短期人間ドック・脳ドック
- ⑤ 郵送検査
- ⑥ 電話健康相談
- ⑦ 健康ウォーキング
- ⑧ インフルエンザ予防接種
- ⑨ 保健指導（妊婦・乳幼児）
- ⑩ 宿泊施設補助金
- ⑪ 家庭常備薬斡旋



一般健康保険

令和8年度予算では、収入面で前年比105.2%の増収を見込む一方、支出の大きな割合を占める保険給付費は前年比110.6%と、収入を上回るペースでの増加を予測しています。昨年、団塊の世代がすべて75歳以上となったいわゆる「2025年問題」により、日本の医療費は構造的な増加局面に入っています。幸い、前期高齢者納付金において今年度は特別負担調整が適用され、納付金は前年度より2億2,500万円の負担減少を見込んでおりますが、予断を許さない状況に変わりはありません。

私たちが納める保険料の多くは、高齢者医療を支える拠出金に充てられています。この厳しい環境下で、互助の仕組みである健康保険制度を守り抜くためには、皆さまお一人おひとりの「健康の質の向上」が不可欠です。特定健診や保健指導を積極的に活用して「異

常なし」で安心するだけでなく、経年変化に目を向けて健康を維持すること、そしてジェネリック医薬品の選択や、かかりつけ医を持つことにより重複検査や多剤処方を防ぎ、より質の高い医療を受けるといった「賢い受診」を心がけることが、将来的な医療費の抑制に直結します。

この春、新しい生活が始まるこのタイミングで、ぜひご自身の健康状態を見つめ直し、生活習慣を一つだけ見直してみませんか。

皆さまの健やかな毎日が、制度を支える大きな力となります。今年度も当組合は加入者の皆さまの健康を増進するために事業会社と連携を強化し、コラボヘルスを積極的に進めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

収入

科目	予算額(千円)	被保険者一人当たり額(円)
健康保険料収入	3,179,255	600,653
調整保険料収入	41,930	7,922
繰越金	300	57
繰入金	200,000	37,786
国庫補助金収入	3,091	584
財政調整事業交付金	14,412	2,723
出産育児交付金	1,921	363
雑収入等	8,613	1,627
収入合計	3,449,522	651,714
経常収入合計	3,192,874	603,226

一般勘定の基礎数値

被保険者数	5,293人
標準報酬月額	389,490円
総標準賞与額	7,834,472千円
保険料率	100.0 / 1,000

- 保険料収入は、3,179,255千円（前年比103.3%）を計上しました。標準報酬月額は前年比102.7%、総標準賞与額は前年比104.2%を見込んでいます。
- 高齢者拠出金額への対応のため、別途積立金より200,000千円を繰入計上しました。
- 前期に引き続き出産育児交付金を計上しています（1,921千円）。

支出

科目	予算額(千円)	被保険者一人当たり額(円)
事務費	86,035	16,254
保険給付費	1,543,176	291,550
法定給付費	1,498,146	283,043
付加給付費	45,030	8,507
納付金	1,152,253	217,694
前期高齢者納付金	404,733	76,466
後期高齢者支援金	747,519	141,228
病床転換支援金	1	0
保健事業費	104,189	19,684
財政調整事業拠出金	41,931	7,922
連合会費	1,206	228
その他支出	1,032	195
予備費	519,700	98,186
支出合計	3,449,522	651,714
経常支出合計	2,887,497	545,531

経常収支差引額	305,377	57,695
---------	---------	--------

- 保険給付費（医療費）は1,543,176千円（前年比110.6%）、被保険者一人当たりでは前年度より26,139円の増加見込。
- 納付金は前期高齢者納付金における特別負担調整があり、令和7年度より225百万円の負担減少を見込んでいます。
- 保健事業費は104,189千円を計上しています。主に特定健診・保健指導及び人間ドック等の疾病予防費に注力した保健事業を積極的に推進していきます。